



男女共同参画社会とは、世代や性別にかかわらず、誰もが自分らしく暮らせる社会です。そのためにも、私たちの住む地域や身近な社会生活について、行政と市民が互いに知り、学び、考え、発信し合い、共に社会をつくって動かしていきましょう。

ジェンダーって何だろう…?



「男だから」「女だから」はもう古い?!

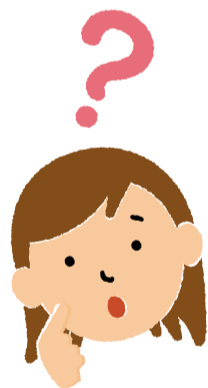
ジェンダーに関する用語、わかるかな?

- ①ジェンダーフリー
- ②ジェンダーレス
- ③固定的な性別役割分担意識
- ④アンコンシャス・バイアス
- ⑤ダイバーシティ

答えはこちら⇒



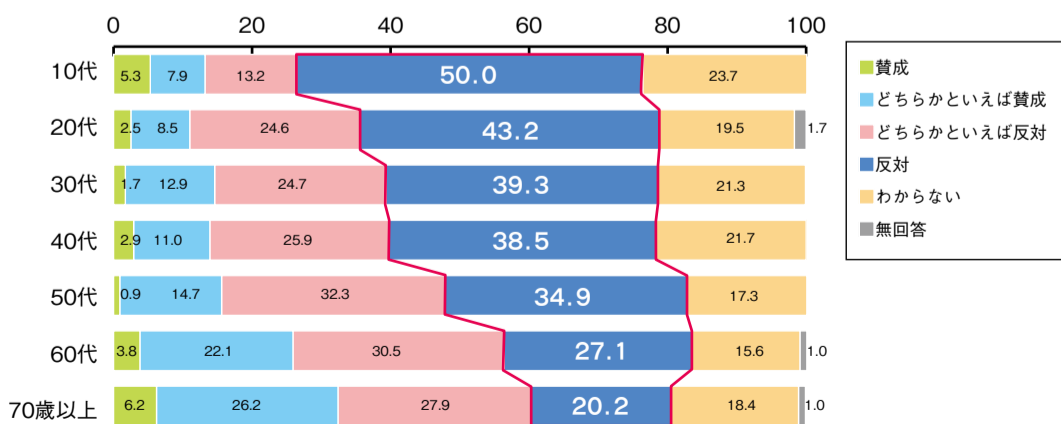
新聞やテレビなどでよく見るようになった「SDGs」。SDGsとは、持続可能な開発目標の略称で、2030年までに世界中のみんなで協力して、より良い社会を作りましょうと国連で定められた目標です。国内でも積極的に取り組む企業や地域、学校が増えてきました。SDGsでは、社会の課題を解決するための17の目標が掲げられていますが、その5番目が「ジェンダー平等を達成しよう」という目標です。



ジェンダーとは、生物学的な性別に対して、社会的・文化的につくられる性別のことを指します。例えば、現実では掃除が得意な男性もいるし、料理が苦手な女性もいます。それなのに「家事や育児は女性がやる仕事」と考えること。こういった性別がジェンダーです。「男だから」「女だから」はまさにジェンダーを表す言葉といえます。

SDGsの中で掲げられている「ジェンダー平等を実現しよう」という目標は女性のためだけのものではありません。性別にとらわれず誰もが自分の能力を発揮してより良い社会、「男女共同参画社会」を目指すために必要な目標なのです。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対して、どのように考えますか。



出典：焼津市総合計画に関する市民意識調査結果報告書（令和3年3月）

左のグラフを見ると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対する割合は、年代が低くなるにつれて大きくなっています。時代の流れとともに「ジェンダー平等」への意識が高まっていることを表しているといえます。



「仕事と生活の調和」の実現に向けて、ひとつ「働き方」を力エてみませんか?

Aしおかせの紙面に隠れているカエルを見つけてみよう!全部で何匹いるかな?
ヒント：おたまじゃくしは〇〇〇の子♪ (答えはAしおかせ4ページ下)

詳細は➡

